

第71回埼玉県美術展覧会 審査評

【第5部 書】

審査主任 柴崎 泉聲

第71回埼玉県美術展覧会展の書の部の総出品数は399点、公募出品数は332点です。前回展に比べ、総出品数で46点、公募出品数で40点の減となりました。コロナ禍の空白時期が長く続き、出品層の多かった団塊の世代の高齢化などにもよるかと思いますが、出品数の減少は残念なことです。出品層は幅広く、高校生から昭和2年生まれの96歳までに及びました。

また、今回展より高校生奨励賞が新設され、高校生の応募もありましたが、入選が適わなかったことは残念です。何らかの良い対策が必要かと思えます。

審査結果を決める鑑別は、厳正かつ公平に三次鑑別まで行い、入選209点（入選率63%）を決定しました。落選がある県展は大変厳しいですが、その反面入賞入選された方の喜びは大きいかと思えます。

入賞は、慎重且つ丁寧に三次審査まで行い、特選10点を決定しました。いずれも作者の特徴が顕著な優れた作品ですが、入賞作品の選考の時、誤字で選外となった作品もあり遺憾に思えます。作品制作に当たっては、文字確認は厳密にしてください。公募の特選10点と委嘱作品の中から受賞した埼玉県美術家協会会長賞と高田誠記念賞を合わせた12名の受賞者は、今後、この受賞を励みに研鑽され益々のご活躍をされますようお願いしています。

○埼玉県知事賞

「儲光義詩」 矢島 丹泉

漢詩（七言詩）を三行で書いた淡墨作品です。文字の大小、潤渴を程良く配し、行間をゆったりと生かした見事な作品と感じます。線質も鋭く確かな用筆を裏付けており格調の高い作品にしています。特に三行目は、程良い渴筆が芸術性を醸し出しており、落款まで確かなリズムで良いと感じます。今後、素晴らしいご活躍を期待しています。

○埼玉県議会議長賞

「早春遊望」 小野田 春穂

強いリズム感や響きのある線質でまとめ上げています。自然な文字の組み合わせ、大小・太細が程良く清澄な線で書かれており、文字の中の余白と文字間の余白が絶妙な間で、入念さが滲み出ている作品です。今後、高いレベルのご活躍を期待しています。

○埼玉県教育委員会教育長賞

「このまもる」 太田 珠穂

西行の歌を行書きでシンプルに構成した作品です。多彩な線質と墨色の変化で美しく魅せられます。字組も自然で無理なく穏やかな流れで、上品な作品に仕上げられており、研鑽の跡が伺えます。今後も卓越したご活躍を期待しています。

○埼玉県美術家協会賞

「^{そうせきし}漱石詩」 ^{いのうえ}井上 ^{かせつ}可雪

作品全体の余白を考え、明るい作品になっています。文字を何字かのグループにまとめ、リズム感を出しています。文字の大小の変化、そして文字を縦長と横長に入れ、行が上から下へと流れるように自然に見えています。見せ場も考え、作品を完成させています。今後も一層のご活躍を楽しみにしています。

○埼玉県美術家協会賞

「^{とほし}杜甫詩」 ^{やまむら}山村 ^{そうすい}爽翠

隷書体の作品です。字間を広く取り、重厚な細みの書線に躍動感がある明るい作品に仕上げています。また、書線が深く食い込こんでいる箇所と軽く流しているところが絶妙にマッチしており、力強さの中に温かさを感じます。今後、更に輝かしいご活躍を期待しています。

○埼玉県美術家協会賞

「^{うちやまきょうのうた}内山峽詩」 ^{たかはし}高橋 ^{ゆうき}雄喜

多字数をこの紙面に収める技量は、日々の練習の賜であると思われます。思い切った文字の大小や行の字幅を変化させ、工夫を凝らしています。また筆圧もしっかりとおさえ、力強さも見える、充実した作品となっています。今後、この受賞を励みに益々のご活躍を願っています。

○さいたま市長賞

「^{りたいはくし}李太白詩」 ^{あいだ}會田 ^{ちすい}知水

直線を多用し、文字の角度を一定に保ちながら、書線の太細のアクセントを強くして余白の美しさをみせています。思い切った空間構成の表現は実にユニークかつ、斬新なものとなっています。今後、益々のご活躍を楽しみにしています。

○さいたま市議会議長賞

「^{こゑ}聲」 ^{はしもと}橋本 ^{ようげつ}葉月

少字数の^{たんぼく}淡墨作品です。少字数書とは、漢字のもつ造形性を強調して、太細・強弱・にじみ・かすれなどの少ない字の中で、文字の持つ意味やテーマを表現します。この作品の書き出しは、紙に食い込む柔らかくのびのある線で懐広く進み、締めまりある^{かつびつ}渴筆の厳しい線で威勢良く回転しながら次の画に続き、一気にバランスよく書き上げています。作者の「^{こゑ}聲」が伝わるとさらに良いです。今後、益々のご活躍を期待しています。

○毎日新聞社賞

「仁而有禮・存其誠」 金子 潔

小篆の朱白文印2点の構成で基本を踏まえつつも個性的な作品に仕上げられています。しかも、朱文印を円形にするという、大変意欲的なチャレンジをしています。円形に文字をバランス良く纏めるというのは難易度が高いのですが、この作品はそれを見事に成し遂げているといえます。落款との調和も取れていて、全体的にバランスの良い見応えのある作品といえると思います。今後、更に輝かしいご活躍を期待しています。

○NHK さいたま放送局賞

「李攀龍詩」 藤谷 千夢

心のままに羊毛筆が動いており、心地よい柔らかい線質が冴えを見せています。迷いのない筆運びで潤渴の変化も程良くこなし、練度のある充実した線を書いており、配置が良く、まとまりが良い作品です。今後、卓越したご活躍を期待しています。

○埼玉県美術家協会会長賞

「白居易詩」 水野 澄篁

隷書体の作品です。字間は広く取り、懐の広い書体で、のびやかで躍動感があり、筆力こもる線質で丹念に書いています。また、線質が冴えており生気が充満し、筆勢が十分で活力が漲ってまとまりが良い作品です。高いレベルのご活躍を期待しています。

○高田誠記念賞

「さざ浪や」 鎌田 公子

じっくり丁寧に引かれた渋みある線です。自然に湧き出た筆の流れで、良寛の書を彷彿とさせるベテランの作品です。気負いなく淡々とした筆致で、温かみのある書線が生きており、連綿で心地よいハーモニーを奏でています。さらなるご活躍を心より応援しています。